

令和3年度 第2回 外国人技能実習機構評議員会

- 1 日 時 令和4年1月27日（木）14時00分～15時30分
- 2 場 所 Web会議システムによる開催
- 3 出席者 多賀谷評議員（議長）、上林評議員、野村評議員、奈良評議員、村上評議員、大下評議員、佐久間評議員、堀内評議員

4 議事

- (1) 令和3年度事業実績（上半期）について
- (2) 令和4年度の新たな取組について
- (3) 新型コロナウイルス感染症への対応と技能実習生の現状
- (4) その他

5 議事概要

- (1) 事務局から、令和3年度上半期の事業実績及び令和4年度の新規事業等について、説明が行われた。
- (2) 評議員からは、
 - ・ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、技能実習生に丁寧な説明と支援を行うよう、監理団体等に周知してもらいたい。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で技能実習が継続できなくなった元技能実習生からの相談も受け付けてもらいたい。
 - ・ 日本で未承認の新型コロナウイルス感染症のワクチンを母国で2回接種した後に入国した技能実習生は、ワクチン未接種とみなされるのか伺いたい。
 - ・ 制度に関する問合せであっても、その背景に何か現場に問題があるのではないかという視点も持って、丁寧に相談対応してもらいたい。
 - ・ 建設キャリアアップシステムに関する質問等が機構に寄せられているか伺いたい。
 - ・ 統計資料で示されている平均月額給与に関し、技能実習生に対して、同じ職場で働く日本人と同等の報酬が支払われているかを確認しているのか伺いたい。
 - ・ 特定の地域や業種における遵法水準や技能実習の状況の推移について伺いたい。
 - ・ 建設業を営む実習実施者への実地検査について、労働基準監督署等と連携して、建設現場にも行ってもらいたい。
 - ・ 地域協議会の活用を拡大し、地域の行政機関との協力関係を高めてもらいたい。
 - ・ 特定技能に携わる機関との連携や情報交換を行っているのか伺いたい。
 - ・ 「協力覚書に基づく送出国政府との連携」に基づき、相手国政府に通報した機関のその後の状況について伺いたい。
 - ・ 海外の不適切な送出国機関を取り締まってもらいたい。

- ・ 違反事例の詳細や改善指導の内容等を積極的に公表してもらいたい。また、諸外国に対して、技能実習制度の適正化の状況や好事例を発信してもらいたい。
- ・ 古川法務大臣が開く技能実習と特定技能に関する勉強会に機構も協力して、技能実習も特定技能もよりよい制度になるよう取り組んでももらいたい。
- ・ 将来的に、労働市場に係るデータ等技能実習制度を理解する上で基本的なデータを時系列に載せた白書を作成してもらいたい。
- ・ 運用要領に改定があったときには、改定内容を簡潔にホームページに掲載して欲しい。
- ・ 監理団体、実習実施者、技能実習生、送出機関のデータ等を一元的に把握できるシステムを構築してもらいたい。
- ・ 将来的にはマイナンバーも活用して、外国人に関する情報、外国人雇用状況届出情報と連携したシステムを構築してもらいたい。
- ・ データシステムのサーバーやバックアップサーバーは、国内に置いて管理を徹底してもらいたい。
- ・ 各種申請手続のオンライン化を早期に実現してもらいたい。
- ・ 企業単独型の申請書類について、簡素化を進めてもらいたい。
- ・ 長期的に職員の研修と新規採用者の教育に力を入れて欲しい。
- ・ 組織改編により、指導と援助が一体的に取り組めるようになることは大事なことで注力してほしい。
- ・ 日本の文化を紹介するなど、技能実習生を歓迎していることを伝えるイベントを開催してはどうか。

等の意見や質問があり、これに対し、事務局から説明が行われた。